

Kevlar® 繊維への水、pH の影響

pH 安定性、加水分解性

pH 安定性：

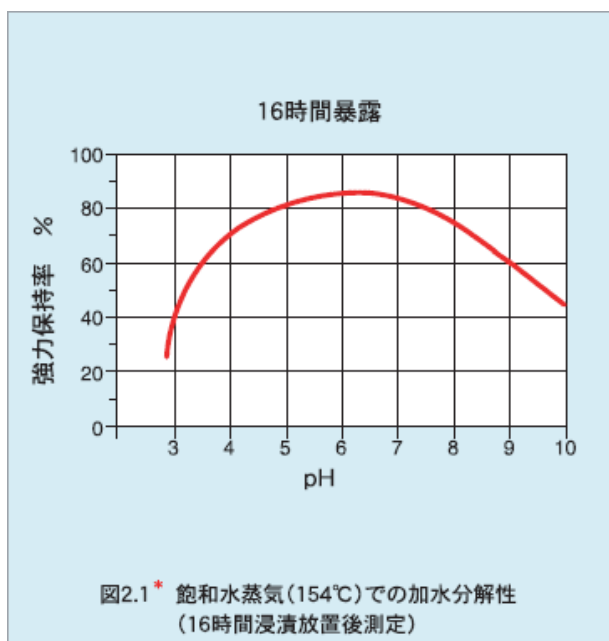
中性領域：65、200 日以上の浸漬では、強度低下ほとんどなし。

強酸・強アルカリ領域：中性領域から離れるほど低下は拡大する。

154 飽和水蒸気に 16 時間放置後：強度低下の pH 依存性を図 2.1 に示す。

加水分解性：

pH7 の 138 飽和水蒸気：強度低下の時間依存性を図 2.2 に示す。



*代表例であって薬品、試験条件によって異なる場合があります

